



千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-16号

バスで行く！

千葉の小々な旅

BUS

第2回



今回の路線

香取市循環バス 休日周遊ルート



香取市のコミュニティバス、「ポンチョ」は狭い道もすいすい進む小さな優れたもの

香取市の香取神宮を經由しながら市内を循環する小型バス、日野自動車のポンチョは誰もが気軽に乗れる小型のノンステップバスとして、市民はもちろん観光客の大切な足として今日も活躍中です。

車体の長さは約7mと通常の路線バスに比べても小型ですが、乗車定員は30名以上。小回りがきくので住宅街の中の狭い道も通行する車両としてまさにうってつけの存在です。

その車体の最大の特徴は、乗り降りのしやすい低床と車内フロアの広さ。タイヤを車両の四隅に配置することで広いフラットスペースを実現。高齢化・バリアフリー時代のコミュニティバスのスタイルを確立した1台と言って良い車です。車内の広い通路幅を確保したことにより、車いすスペースとしてだけでなく、子どもをベビーカーに乗せたままでの乗車が可能で、2006年に登場した2代目ポンチョは、そのユニバーサルデザイン思想がしっかり反映されたデザインが高く評価され、2006年度グッドデザイン賞を受賞しました。

ポンチョの名前の由来は、カタログによると「PON(ポン)」と乗って「CHO(チョ)」こっと行く。

そんな話を耳にすると、その丸みを帯びた車体がさらに可愛く見えてきます。しかしその可愛い外見のわりに結構な力持ち。その排気量は5,123cc。

このポンチョのラインアップは3タイプあり、同じ長さで扉が1つのタイプと2つのタイプ、車体の長さが約6.3mのショートタイプがあります。



◀こちらは市内循環バスを運行している千葉交通の路線バス。香取市内を運行しています。



▶色は薄紫色で、休日周遊ルートは車体に大きく「2」の数字が記載されています。

香取市循環バス 休日周遊ルート

今回ご紹介しているバス路線は、土・日・祝日に運行されている佐原の町並みをめぐる周遊バス。1周10km、約30分で水郷や歴史的町並みを回ることができます。

運賃は大人300円、中高生100円。1日フリー乗車券(大人600円、中高生200円)を購入すれば、乗り降りが自由。諏訪神社、忠敬橋(水郷佐原の町並み)、水郷佐原山車会館、そして香取神宮など見どころいっぱいの町の魅力を途中下車しながら存分に楽しむことができます。

佐原駅を出発する香取市循環バスは 水郷佐原の風景や香取神宮など見どころ満載

今回は佐原駅から循環バスに乗車。佐原駅南側ロータリーを出発したバスは駅前通りを直進し最初の見どころ、諏訪神社へ。ここから住宅の中の細い道をしばらく進むと街道沿いに次第に江戸を感じさせるような古い民家や商店の姿が現れます。有名な忠敬橋ちゅうけいばしはそんな風景の中。ここで下車すれば歴史を感じさせる小野川沿いの町並みを楽しみながら、伊能忠敬記念館にもアクセスできます。

次の見どころである妙光山観福寺は牧野停留所から少し歩いた場所。深い森に囲まれた場所にある何とも雰囲気のあるお寺で、ここには伊能忠敬のお墓もあります。

次はコース最大の見どころ、香取神宮。多くの方がこの場所を目的に循環バスを利用されます。

そしてコースの最後の楽しみは川の駅・道の駅 水の郷さわら。ここから見られる利根川の風景はまさに一見の価値あり。ここもぜひ立ち寄りしたい場所です。周回バスは一周約30分ですが、途中下車で町の魅力をゆっくり楽しみながら乗降すれば、一日中楽しめる素晴らしいバス路線です。何度も乗降されるなら1日フリー乗車券が便利です。



今回の旅はJR成田線佐原駅からスタートです。佐原の町並みをイメージした和風の駅舎の中には観光交流センターなどもあります。

利根川

●川の駅・道の駅 水の郷さわら

地元の美味しい野菜など地域特産品の直売や河川を利用した観光船など各種レクリエーションが楽しめるスポット。駐車場から入り建物を抜けると広がる利根川の広大な風景は一見の価値あり。フードコートもあるのでバス散策の一休みの場所としても最適です。

●問い合わせ／川の駅 香取市佐原イ4051-3 TEL.0478-52-1138
道の駅 香取市佐原イ3981-2 TEL.0478-50-1183



▲各種レクリエーション受付、総合案内所などがある川の駅



▲特産品直売所、フードコートなどがある道の駅



●諏訪神社

水郷の町「佐原」に鎮座する神社。佐原の由緒あるお祭り「佐原の大祭」秋祭りでは知られる神社で、このお祭りはユネスコ無形文化遺産にも登録されています。木々に囲まれた本殿まで続く長い石段が印象的です。

●問い合わせ／香取市佐原イ1020-3
TEL.0478-52-4502



●伊能忠敬記念館

伊能忠敬は、わが国最初の実測日本地図を作りあげた人物。忠敬の人生を年代順に追い、その業績の結晶である伊能図をあますことなく紹介しています。

所蔵されている伊能忠敬関係資料(2,345点)は国宝に指定されています。

●問い合わせ／
香取市佐原イ1722-1
TEL.0478-54-1118



●妙光山 観福寺

真言宗の巨刹で、川崎大師・西新井大師と並び、関東三大厄除大師の一つに数えられています。弘法大師が布教のおりにお泊まりになったため、お堂を建てたのが起こりと伝えられ、樹々が濃く覆いかぶさる参道を抜けると弘法大師の像が迎えてくれます。広大な境内には、伊能忠敬、国学者の伊能頼則ひでのりなどの墓地をはじめ、歴史的に貴重な資料が数多く残されています。

●問い合わせ／
香取市牧野1752
TEL.0478-52-2804



※現地の時刻表に基づき取材をしています。曜日・季節・天候により時刻表・ルートが変更になる場合があります。



わが国屈指の名社、香取神宮を訪ねよう

香取市循環バス休日周遊ルートの停車地のメインと言えどももちろんここ香取神宮です。

香取神宮は下総国の一宮で、明治以前に「神宮」の称号を与えられていたのは伊勢、香取、鹿島のみというわが国屈指の名社で、全国約400社の香取神社の総本社でもあります。

創建は初代天皇である神武天皇の御代18年と伝えられ、祭神は日本書紀の国譲り神話に登場する経津主大神です。

香取神宮の宝物の中には、国宝の海獣葡萄鏡や重要文化財の古瀬戸黄釉狛犬、双竜鏡などがあり、国・県指定の文化財だけでも200点余を所蔵・所有しています。

循環バスが到着するのは参道の入口付近。お参りする方々を楽しませてくれる飲食店やお土産屋が立ち並び通りを進むと、目の前に大きな大鳥居。ここを進んでいくと、巨大な灯籠が並び巨木に囲まれたきれいな

砂利が敷きつめられた緩やかな坂道が続きます。

到着した総門の石段を上がっていくと、そのしんとした雰囲気^{ひわだぶき}に身が引き締まるようです。

本殿・中殿・拜殿が連なる権現造の社殿の桧皮葺の屋根と黒塗りの建物の姿は思わず見惚れてしまうほど美しく荘厳です。



▲参道を進むと、朱色の楼門が現れる。



▲門前の商店街を抜けると、正面に大鳥居の姿が。



▲参道の両脇には大きな灯籠が並び、大木が生い茂っている。

●問い合わせ／香取神宮

香取市香取1697-1 TEL.0478-57-3211



イチ押しホテル

佐原商家町ホテル NIPPONIA

香取市佐原イ1708-2
TEL.0120-210-289

●URL/
<https://www.nipponia-sawara.jp/>

商家町佐原全体がひとつのホテル。まさに泊まるという体験を。

NIPPONIAとは、各地に点在して残されている古民家をリノベーションし、その土地の文化や歴史を実感できる施設として再生していく取組みです。

佐原商家町ホテル NIPPONIAは、佐原の町をゆるやかにひとつのホテルと見立て、築100年超の商家を含む4つの棟が町に点在する宿泊施設です。滞在者はチェックインをフロントのある

KAGURA棟ですませたら、佐原の町へ。重厚な土蔵造りの商家や町家が並び道を歩き、佐原の名産である醤油やみりんをつくる蔵、地元のカフェなど寄り道もしながら、宿泊棟へと向かいます。関東一の食の産地千葉の味覚を愉しむ本格フレンチ、近隣の銘店や店舗と連携した街歩きなど、佐原の町をゆったりと楽しみながら、町に溶け

込むように泊まる新しいスタイルの宿泊を体験することができます。



▲どこか懐かしく新しい、ゆったり快適な古民家ステイ

《バスで行く! 千葉の小さな旅》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「バスで行く! 千葉の小さな旅」の第2回をご覧ください。



今回、バスの旅で訪れた佐原。その佐原に縁の深い、初めて実測日本地図をつくりあげた人物は誰でしょうか。次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 二宮尊徳
- ② 伊能忠敬
- ③ 宮沢賢治

取材協力・撮影協力・写真提供／香取市、諏訪神社、伊能忠敬記念館、妙光山観福寺、水の郷さわら、香取神宮、佐原商家町ホテルNIPPONIA

確かな“きずな”を、未来へ。



ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行 情報誌 検索

LINEからも「バスで行く! 千葉の小さな旅」を配信しています。

LINE
公式アカウント



正解は→② 伊能忠敬

2023.8
(次回発行予定／2023年9月20日)